

資料6. 上位・関連計画

(1) 新岩見沢市総合計画（平成20年度～29年度）

【将来の都市像】

新たなまちづくりを進めるにあたり、受け継がれてきた共有の財産を大切に生かし、将来の世代に引き継ぐとともに、すべての市民が豊かで幸せに暮らせるまちを築くために、岩見沢市のめざすまちの姿を以下としています。



みんなで支え合う、人が築くまち

市民一人ひとりが自立し生きがいを持って生き生きと活動し、市民と行政、起業などがまちづくりの主体となって協働する、みんなで支え合うまちをめざす。

資源や特性を生かし、地域が輝くまち

それぞれの地域で暮らす人たちの思いを大切に、受け継がれてきた歴史を守り育てながら、地域の資源や特性を生かし高めていくまちをめざす。

豊かな緑を育み、自然と共生するまち

環境と調和した循環型の持続可能な地域づくりを進め、豊かな緑を生かし育み、自然と共生した魅力ある住みやすいまちをめざす。

空知の中心都市にふさわしい、活力に満ちたまち

空知の中心都市にふさわしい都市基盤を整え、地域産業・経済の活性化を進め、意欲あふれる人材の育成や交流を促進する、活力に満ちたまちをめざす。

誇りと愛着を育む、個性豊かな文化のまち

市民生活の質的向上を図り、安心して快適な暮らしの中で、まちへの誇りと愛着を育み、地域に根差した個性豊かな文化を発信するまちをめざす。

【まちづくりの基本方向】

1. 安全・安心で快適に暮らせるまちづくり

- ・ 環境保全、循環型社会の形成及び環境衛生の充実による住環境の質的向上等
- ・ 自主防災の取り組みに対する支援や安全活動促進、除排雪体制の確立等
- ・ 市街地の無秩序な拡大の抑制とコンパクトな市街地の形成、市民が快適で安心して暮らせる生活環境づくり等

2. みんなで支える健康・福祉のまちづくり

- ・ 自主的な健康づくりに対する支援や病気予防対策の充実と医療体制等の充実
- ・ 福祉ボランティア・NPOなどの活動の育成と支援、地域福祉の体制づくり
- ・ 子育て支援施策の実施、高齢者や障害のある人のための福祉サービスの充実等

3. 豊かな心を育む教育・文化のまちづくり

- ・ 教育の充実と生涯学習の推進
- ・ 市民が主体的に歴史・文化に親しみ、文化芸術活動、スポーツ活動に参加できる機会の充実
- ・ 国際交流活動の推進と、地域資源の活用など特性を活かした地域間交流の推進等

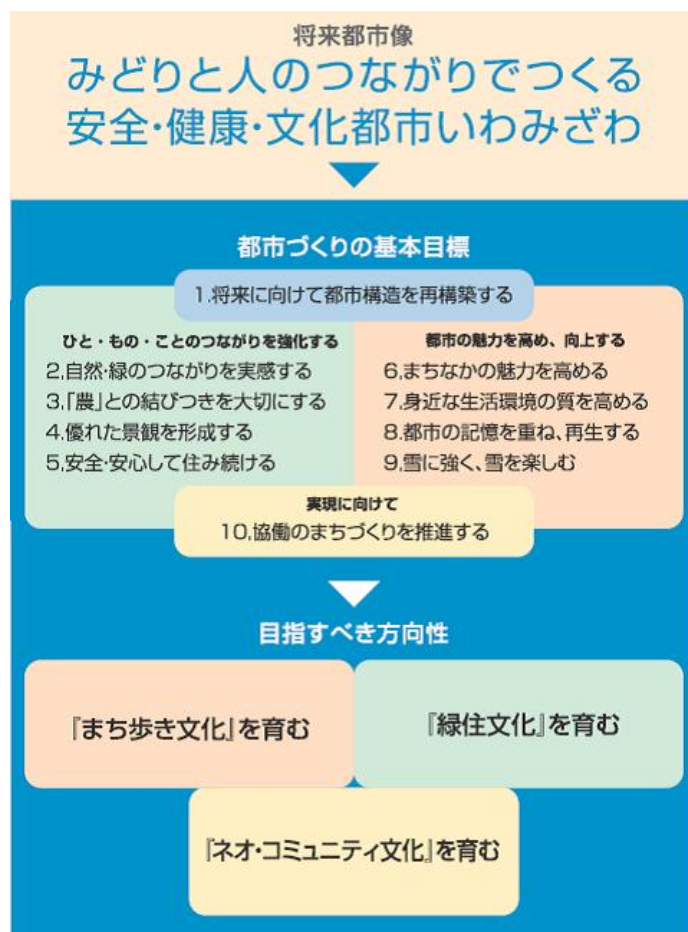
4. 活力ある産業・経済のまちづくり

- ・ 関係機関・団体と一体となって活力とうるおいのある農業・農村づくり
- ・ 中心市街地の再生や魅力ある商店街の形成を進めるとともに、起業の立地環境整備や地域特性を活かした体験・交流型観光の推進
- ・ IT基盤を活用した新産業の創出支援、農林業、商工業、観光業が連携した取り組みの推進、産業施策の総合的实施による雇用の拡大等

(2) 岩見沢市都市計画マスタープラン（平成18年度～37年度）

岩見沢都市計画マスタープランは、「市町村の都市計画に関する基本的な方針」として、市民の理解と参加のもとに、岩見沢市の中・長期的な都市づくりの指針を定めることを目的に策定されました。

都市計画マスタープランでは、新岩見沢市総合計画を踏まえながら将来都市像を「みどりと人のつながりで作る安全・健康・文化都市いわみざわ」と定め、都市像の実現に向けて10の基本目標と3つの目指すべき方向性を示しています。



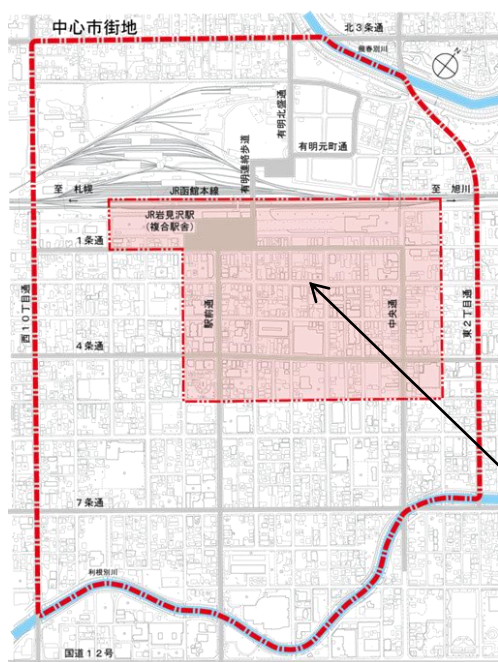
■ 『まち歩き文化』を育む

目指すべき方向性として示された3つの文化のうち、「まち歩き文化」を育む都市づくりでは、次のことが示されています。

- ①コンパクトで便利な都市を目指す
 - ・市街地の拡大を抑制し、公共施設をまちなかに集約する
- ②快適なアクセスを確保する
 - ・駅前通と環状線の整備、公共交通システム、歩行者・自転車道路ネットワークの形成
- ③まちなかの魅力をたかめる
 - ・まちなかの土地利用を利活用し、まちなか居住を進める
 - ・駅周辺整備と魅力スポット・交流の場をつなぐ回遊ネットワークの形成
- ④歴史的なストックと資源を活用する
 - ・産業施設を市民活動の場として再生や、市民の生涯学習や交流の場づくり

(3) 中心市街地商業業務集積地区活性化ビジョン（平成22年度策定）

中心市街地商業業務集積地区活性化ビジョンは、中心市街地の活性化をさらに推進し、認定基本計画の目標を達成するため、複合駅舎やその周辺の集客力の向上、大規模小売店舗が撤退したポルタビルの問題などの課題解決をめざし、商業業務集積地区の回遊性向上などの具体的方策を定めたものです。ビジョンは、IT企業を主体とした業務系企業の集積や民間活力による住宅整備など、住む人や働く人を増加させる「住」・「職」を重点的に展開し、その人々が中心市街地で買物を行い回遊するようにソフト施策の充実や連携体制の構築、既存商店街の活性化などの「交」の事業と連携していくことで、“まちなかでの住まい、働く場所の充実による賑わいの創出”を図ることとしています。



【課題】

- コンパクトで賑わいのある市街地形成
- 住と職の充実による活性化
- ポルタを中心とした商業機能の充実

商業業務集積地区

